

西東京市立上向台小学校 第1回保護者会資料

令和7年度学校経営方針について

令和7年4月18日（金）
西東京市立上向台小学校
校長 酒見 裕子



令和7年度

西東京市立上向台小学校

グランドデザイン



目指す学校像

- 一人一人の**子供を主語にする**学校
- 学ぶ**ワクワク感**のある学校
- 健康・安全**に努める学校
- 子供・保護者・地域・教職員が
連携・協働して**ともに**つくる学校
- 教職員が、安心して本務に力を
注げ、協働できる学校

学校教育目標

人にやさしさ 自分につよさ 生き抜くかしこさ

目指す教師像

- 一人一人の子供の**よさや可能性**
を見出す教師
- 主体的な学びを支援する**伴走者**
としての役割を果たす教師
- 学校をつくる**組織の一人として**
協働できる教師
- 保護者や地域に**信頼される**教師



「一人一人の子供を主語」にする学校へ



目指す児童像

人にやさしさ

人や社会との「**かかわり**」や
「**つながり**」を大切にする
思いやりのある児童



自分につよさ

自ら心や体を鍛え、最後まで
やり抜く力を備えた児童



生き抜くかしこさ

自ら学習に向かい、自分に
合った方法を選択しながら、
学びをデザインできる児童



＜正解のない社会を生き抜いていくために＞
予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、
自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力の育成



今年度の重点

令和の日本型学校教育 上向台小Verの推進

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- デジタル学習基盤を活用した学びの質の向上（情報活用能力の向上）
- 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての教師への転換
- 副担任も含めた学年経営の充実

学校・家庭・地域がともにある 学校づくりの推進

- 学校・家庭・地域が当事者意識をもった学校づくりへの参画
- カリキュラム・マネジメントの視点による地域の教育力や資源の活用
- PTA及び学校運営協議会との連携

働き方改革の推進

- 学校の本質を捉えた業務内容の精選
- ICT環境を通じた校務の効率化
- 働き方改革へのマインドセット
- 教職員の心理的安全性の確保

これまでと時代や産業構造が異なり、 求められる力が変わってきています！

社会



社会を支える

教育・人材育成システム

これまで

工業化社会 大量生産・大量消費

巨大化する都市環境 指数関数的な人口増

経済成長

新卒一括採用・年功序列



同質性・均質性
一律一様の教育・人材育成

一斉授業

形式的平等主義

みんな一緒に みんな同じペースで みんな同じことを



測りやすい力
重視

限られた時間で
自らの記憶や思考
だけを頼りに
素早く正確に解く
力を評価

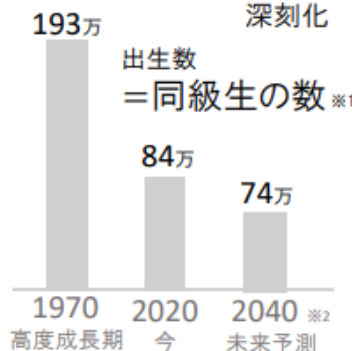
自前主義

学校種、学校、
学年、学級、教
科などの縦割り
構造に基づく
教育の提供

社会的・文化的
バイアス

学びや進路の
選択を制約する
バイアスの存在
(女子の文理選択、
直線的な進学だけが
選択肢)

人口減少・少子化の
深刻化



世界トップレベルの
教育システム

同調圧力
正解主義

価値創造やイノベーション創出の
最大の敵

一人一台端末
オンライン環境の整備
コロナで進んだデジタル化



今、これから

新たな
価値創造



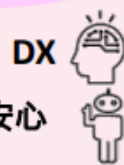
SDGs

イノベーション

Society 5.0

一人ひとりの多様な幸せ well-being

地球規模課題 多様性 安全・安心
AI 人材の流動化 総合知



多様性を重視した教育・人材育成

個別最適な学び

協働的な学び

それぞれのペースで自分の学びを 対話を通じた「納得解」の形成



探究力重視

自ら学びを調整し、
社会に生きる学び
や試行錯誤しながら、
自ら課題を設定
し課題に立ち向かう
「探究力」を評価

社会とシームレスな
協働体制

社会や専門的な
力を入れて、
一人ひとりの特性
を重視して、その
力をさらに伸ばす
体制



子供の主体性

大人の成功体験
や経験にとらわれ
ず、子供の好奇心
や個人の興味・関
心に応じた学びや
進路選択の実現

Society 5.0の実現のために、学校教育には、次代を切り拓くイノベーションの源泉である創造性と
「多様性」「公正や個人の尊厳」「多様な幸せ(well-being)」の価値が両立する
「持続可能な社会の創り手」を育むことが求められている



教室には多様な子どもが集まっています

発達障害の可能性のある子供 (学習面or行動面で著しい困難を示す)

- ・ADHD(注意欠如多動性障害)
いつもそわそわして、じっと座ってられない。いろいろなものに気が散り、授業に集中できない。
- ・LD(学習障害、読字障害)
文字が流暢に読めなかったり、板書に時間がかったりして、授業の進度に合わせられない。
- ・ASD(自閉症スペクトラム)
学習活動の見通しが持てないと不安になる。暗黙のルールがわからず、突然発言してしまう。

発達障害※1
2.7人
(7.7%)

特異な才能のある子供

授業が暇で苦痛。価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独。発言すると授業の雰囲気壊してしまう。

小3から中学数学、小5で数ⅡBをやっていた。
4歳のころ進化論を理解して、8歳で量子力学や相対性理論を理解していた。

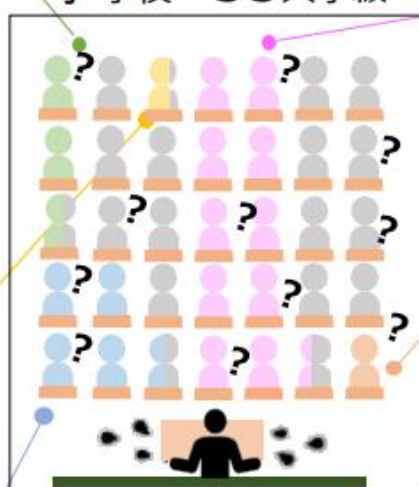
特異な才能のある子供※2
0.8人
(2.3%)

不登校・不登校傾向の子供

不登校※3
0.4人
(1.0%)

不登校傾向※4
4.1人
(11.8%)

小学校 35人学級



※例示している特性が複合しているケースも多い。
※特性として示している子供についても、状況にはグラデーションがあり、様々であること。
※このほかにも、学校には、病気療養で学校に通えない子供やいわゆるヤングケアラー等、多様な背景や困難を抱える子供が存在している

家にある本が
少ない子供※5
10.4人
(29.8%)

家で日本語を
あまり話さない子供※5
1.0人
(2.9%)

家庭の文化資本の違い

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供

※家にある本の冊数と正答率の間には相関
家にある本が10冊又は25冊と答えた割合



家で日本語を話す頻度の違い

家で日本語を「いつも話している」子供と「全く話さない」子供の間には、正答率に差が見られる
※家で日本語を「全く話さない」「ときどき話す」と答えた割合

子供たちの特性や関心・意欲は様々

話すこと・聞くこと
書くこと・読むこと
が得意な子供

文字情報・
音映像などの情報の扱
いが得意な子供

音やダンスで
表現することが
得意な子供

特定の分野に極めて
高い集中力を
示す子供

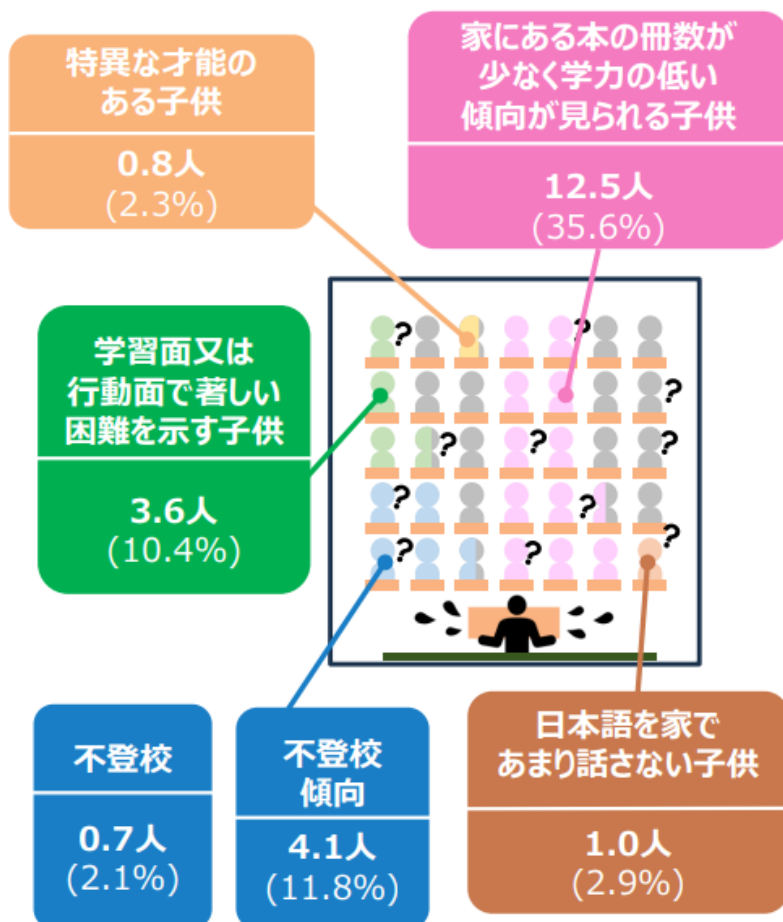
興味や関心が
拡散しやすい子供

特定の分野などに
関心・意欲や知的的好奇心
が旺盛な子供

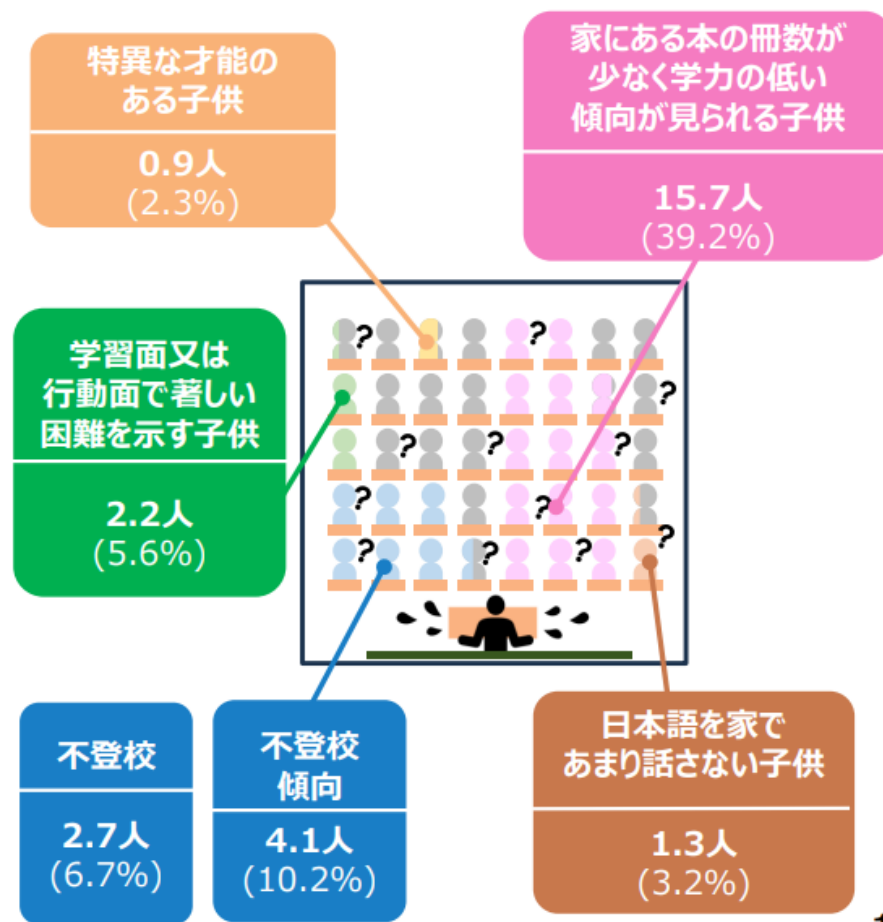
学校における児童生徒の多様性を包摂する必要性

○どの学校においても、多様な個性や特性を有する子供が在籍している実態が顕在化している。
こうした多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題。

小学校（35人学級）



中学校（40人学級）



※各数字の出典は諮問参考資料P45,46参照
https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt_kvniku01-000039494_03.pdf

今までは……

みんな同じペースで 同じことを 同じ方法で

じっとしているのが
苦手だな……

簡単すぎて
退屈で苦痛だな。

全く分からない。
寝よう。

授業について
いけない……

文字が
読みづらいな……

これからは……



「自分のペースで自分で学ぶ」
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

新たな
価値創造



イノベーション
創出

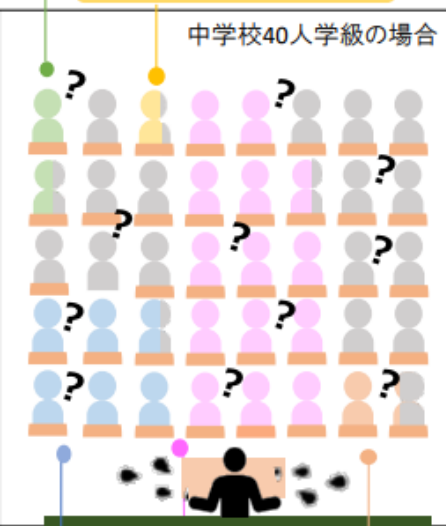
すべての子供たちの可能性を最大限引き出すことを目指し、子供の認知の特性を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、子供一人ひとりの多様な幸せ(well-being)を実現するとともに、一つの学校がすべての分野・機能を担う構造から、協働する体制を構築し、デジタル技術も最大限活用しながら、社会や民間の専門性やリソースを活用する組織(教育DX)への転換を目指す。これを実現するためには、皆同じことを一斉にやり、皆と同じことができることを評価してきたこれまでの教育に対する社会全体の価値観を変えていくことも必要となる。

子供たちが多様化する中で 紙ベースの一斉授業は限界

発達障害の可能性のある子供

特異な才能のある子供

中学校40人学級の場合



不登校
不登校傾向

日本語を家で
あまり話さない子供

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供

※語彙や読解力の低下は重要な教育課題

※子供の数の考え方・定義等については、スライド10の
出典と同様。

※限られたリソースの中、個別最適な学び・協働的な学
びを追求している学校や教師も沢山いるが、現リソ
スでは一般的に限界があることを想定して図式化

2017年改訂により資質・能力重視の教育課程へと転換

教師による一斉授業
一定のレベルを想定した
質の高い授業展開

主体

子供主体の学び

子供の理解度や認知の特性に
応じて自分のペースで学ぶ

同一学年で
同一学年で構成され
該当学年の学び

学校種
学年

学年に関係なく

学年・学校種を超える学び
や学年を遡った学びも

同じ教室で
集団行動が
基本となる教室で

空間

教室以外の選択肢
教室になじめない子供が
教室以外の空間でも

教科ごと
教科担任制のもと
教科ごとの指導

教科

教科等横断・探究・STEAM
教科の本質の学びとともに、
教科の枠組みを超えた
実社会に活きる学びを

Teaching
指導書のとおり
計画を立て教える授業

教師

Coaching

子供の主体的な学びの
伴走者へ

同質・均質な集団

教員養成学部等を卒業し、
定年まで勤めることが基本
万能を求められる教師

教職員
組織

多様な人材・協働体制

多様な教職員集団
理数、発達障害、ICT、
キャリアなど専門性を
活かした協働体制

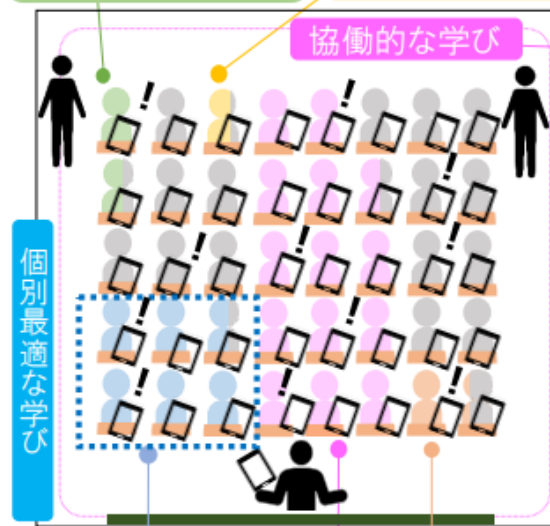
多様な子供たちに対してICTも活用し 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

発達障害等

自分の特性を理解し、ICTを
活用しながら、自分に合った
学び方で進めることができる

特異な才能のある子供

特異な才能のある分野を
伸ばすため、大学や研究
機関で学ぶことができる



個別最適な学び

協働的な学び

※家庭や経済力、認知の特性や興味などが異なる
子供たちが「協働」で学ぶ機会確保が公教育の肝
※協働的な学びの重要なルールは情報端末であり、そのためには情報端末が重要

不登校・不登校傾向

学校の中に通常の学級から離れて
学習ができる学びの場、教育支援セ
ンター、不登校特例校、夜間中学、
フリースクールをはじめ、NPOや民間
等の力も活かしつつ、従来の学び方
とは別の形で学ぶことができる

日本語を家で
あまり話さない子供

特別なカリキュラム組み、
ICTも活用しながら、日本
語習得と同時に学びを
進めることができる

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供

タブレット等の活用により自分のペースで着実に
自分の理解に応じて学びを進めることができる



目に見える部分

問題行動

目に見えない部分

ストレス 疲れ
人間関係の悩み

「一人一人の子供を主語」にする学校へ



先生が困っている子供



「一人一人の子供を主語」にする学校へ

子供が困っている！



令和の日本型学校教育 上向台小Verの推進

NEW

① 西東京市教育委員会 自立した学習者の育成 研究指定校【新規】

予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動できる力を育成するための各教科等における授業デザインを考えます。

子ども自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した単元づくりについて研究を進めます。
<予算措置あり>

② 東京都教育委員会 小学校教科担任制等加配校【継続】

専門性の高い教科指導や複数の教員による多面的・多角的な児童理解を行うために、中学校体育の専科教員を加配し、小学校高学年における教科担任制を推進します。

各教科が教科を分担して授業を行うことで、授業準備の効率化や組織的な生活指導など、教員の負担軽減を図り、教育の質の向上を図ります。
<加配教員あり>

③ 東京都教育委員会 校内別室指導支援員配置事業実施校【継続】

校内別室指導支援員を配置し、不登校及び不登校傾向の児童に対して、校内の別室（旧ランチルーム）にて、学習指導や相談対応等を実施します。
<加配職員あり>



「デジタルを活用したこれからの学び」の指導・研究に役立つコンテンツを公開しました

デジタルの力を活かして主体的・対話的で深い学びの実現を図っていくため、東京都教育委員会は、「デジタルを活用したこれからの学び」を研究し、推進しています。この度、「デジタルを活用したこれからの学び」のイメージをもち、理解を深める上で参考となるコンテンツを公開しました。



デジタルブック



都内公立学校10校の取組事例を実写漫画や図解で紹介しています。実践者の先生のインタビュー動画も2次元コードから視聴できます。

授業風景360度動画



子供に学びを委ねる授業の一場面や、指導のポイントの例について、子供の学習活動に焦点を当てながら動画で紹介しています。

授業体験コンテンツ



体験型コンテンツです。教師役となり、場面に応じた子供への声掛けを選択するなど、授業中の教師の役割について知ることができます。

指導に役立つ3コンテンツを公開しました。「デジタルを活用したこれからの学び」は「とうきょうの情報教育を知る」から御覧になれます。



【活動実践】一人一人が自立した学習者になるために (東京都 西東京市立上向台小学校)

2025/03/26 16:00

#主体性

#多様性

#子どもの発達

#学びの意欲

#小学校



今年度の重点

学校・家庭・地域がともにある学校づくりの推進

① 西東京市教育委員会 すぐーるによる配布物のデジタル化【継続】

学校で作成した文書についてはデジタル化し、保護者の皆様にすぐーるを用いて確実に届くようにします。

② 登下校時の安全対策【継続】

保護者やサルビア・カフェ、民生委員・児童委員、ボランティアセンターなどと連携・協力を図りながら、登下校時の見守りを行っています。

南門の自転車道路の見守りについて、ぜひ保護者の皆様も御協力ください。

③ 西東京ふるさと探究学習の推進【継続】

各教科や総合的な学習の時間等において、カリキュラム・マネジメントの視点から、地域の人、もの、ことを効果的に活用した多様な他者と協働し、課題解決できるような単元や授業を構想します。

働き方改革の推進

NEW

① 専門スタッフの配置【拡充】

学年教育アシスタント（２名）や校内別室指導支援員、子供と家庭の支援員など、専門スタッフと協力して、子どもたちの対応に当たります。

SCやSSW、ICT支援員、副校長補佐、スクール・サポート・スタッフ、特別支援教室専門員等も継続して配置しています。

＜加配職員あり＞

② 夜間・休日、学校閉庁日の電話対応【継続】

西東京市では、平日は午後６時３０分から、翌朝の午前８時まで、週休日や学校閉庁日は終日、電話を留守番電話に切り替える対応を行っています。

電話が繋がらない場合は、翌日以降の午前８時から午後６時３０分までに連絡をお願いします。

また、緊急対応を要する場合は、役所や警察、消防など、専門機関への御連絡をお願いします。

＜教員の１日のスケジュールの例（小学校）＞

7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
時間外	勤務時間（8:15～16:45）									時間外		
授業準備	登校指導・朝学活・朝学習	一時間目	二時間目	児童指導（中休み）	三時間目	四時間目	給食指導・清掃指導 ・児童指導（昼休み）	五時間目	六時間目	終学活・下校指導	休憩時間	○授業準備・教材研究 ○提出物の返却準備 ○成績評価 ○行事の準備 ○保護者の相談対応 ○個別の打合せ ○学年・学級運営の事務 等 ※中学校等の場合には、部活動指導にも従事

働き方改革の推進

NEW

③ 校務DXの推進～職員室をクラウド化～

これまで教員は職員室にいないと仕事ができなかったのですが、校内サイトを活用し、職員会議等における情報共有など、様々な情報にアクセスしやすくします。また、日々の情報共有にもクラスルームやチャット等を活用します。

さらに、年間行事予定等のスプレッドシートのデータを、週ごとの指導計画や学校日誌に反映させるとともに、Googleカレンダーとも連携したりするなど、**クラウドを活用した働き方改革を推進**していきます。

← → ↺ ↻ 🏠 🌐 sites.google.com/d/1IA2ulRkZVhqfp-05TvaE6GGWA1Bn0c0J/p/1iS8opicoLIU_8StiXpgVJ79ZyvD7IASc/edit 🔍 ☆ 🌐 🏠 📄 📱 🌐

📁 nishitokyo.ed.jp のブックマーク 📁 すべてのブックマーク

上向台小学校

人にやさしさ 自分につよさ 生き抜くかしこさ

上向台小学校

ポータルサイト for Teacher
〒188-0013
西東京市向台町 6-7-28番地
TEL : 042-467-1151
FAX : 042-469-2176

上向台小HP
熱中症指数
雨雲レーダー
雷レーダー

職員会議議題 教育計画 上向台小Classro... 校内研究Classro... 月行事予定表 時間割

出欠 朝の連絡用チャ... 自己申告日程 校内研究ドライブ 職員会議記録 夕会記録

HP更新手順 すぐえるマニユ... ICT管理マニユ... 情報セキュリティ... 学校施設使用簿 長期



上向台小学校には、 **上向台けやき教室** があります。

場所は、南校舎の2階、
4年2組の隣と
本校舎の3階、PTA室の隣



けやき教室とは



にがてな
こと



できるよう
にする

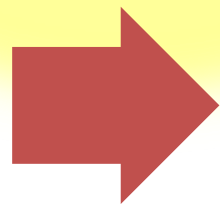
たとえば・・・



クラスとは
ちがうやり方
で学習する



かん字をかく
ことがにがて



クラスでたのしく
学べるように
なったよ！

たとえば・・・



クラスとは
ちがうやり方
で学習する



友達の気もちを
りかいすることが
にがて



クラスで安心して
すごせるようにな
ったよ！

自信がついたら、
けやき教室は、

そつぎょう

できるように
なったよ！



です。

小学校特別支援教室のご案内

西東京市では市立小学校全校において特別支援教室を設置しています。
特別支援教室の内容やしきみ等についてご案内します。

R7.1月

～お子さんにこのような不安は、ありませんか？～

コミュニケーション
のすれ違いが多い

集団生活に
なじみにくい

状況や
人の気持ちを
捉えるのが苦手

読む、書く、聞く、話す等
のうち、特定のものの
学習が難しい

気持ちの切り替え
がうまくできない

衝動的に行動
してしまう

特別支援教室の指導

コミュニケー
ション力

意欲

自立心

自信

自己
肯定感

自立に向けた力を育み、より充実した学校生活になるよう支援します。

特別支援教室の指導とは・・・

お子さんの課題を改善すると共に、よい面を伸ばすために「自立活動」の授業を行います。「自立活動」とは、小さな成功体験を積み重ね、自信や意欲を向上させていくことを目的とした指導です。在籍学級で友達と一緒に有意義な学校生活が送れるようになることを目指します。

対 象：通常の学級に在籍し、知的な発達に遅れがなく、通常の学級での学習におおむね参加でき、学習上・生活上の課題や社会性に関して一部特別な指導を必要とするお子さん

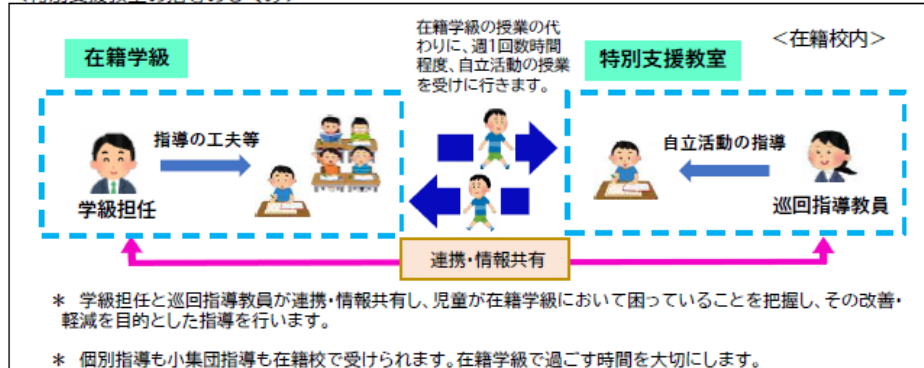
普段通っている在籍学級で受ける授業の代わりに、特別支援教室での指導を受けます。

原則週1回、1～3時間程度の指導を受けます。

指導の方法は「個別指導」と「小集団指導」があります。

入室申し込みは学校を通して行い、就学支援委員会で適否が判定されます。

＜特別支援教室の指導のしくみ＞



＜特別支援教室の拠点校と巡回校＞

拠 点 校	巡 回 校
保谷第一小学校	保谷第一小学校、碧山小学校、栄小学校、東小学校、住吉小学校
谷戸小学校	田無小学校、谷戸小学校、中原小学校、谷戸第二小学校
東伏見小学校	保谷小学校、保谷第二小学校、東伏見小学校、柳沢小学校、本町小学校
けやき小学校	向台小学校、芝久保小学校、上向台小学校、けやき小学校

特別支援教室 Q & A

Q 入室方法について教えてください。

A 本人・保護者の意向をお聞きし、担任・学年教員等との相談のもと、お子さんにとって必要な支援について校内で検討します。その上で、特別支援教室の活用が効果的と判断された場合は、学校と教育委員会の連携による委員会（就学支援委員会）で入室適否を決定していきます。

Q いつからいつまで通いますか。

A 原則の指導期間は1年間です。指導を進めながら、一人ひとりの学びの状況に応じて通室期間や方針を考えていきます。また、指導による効果の進捗を定期的に確認しながら進めます。

Q 勉強や宿題をみてもらえる教室ですか。

A 特別支援教室は、補習をする教室ではないため、勉強のサポートは行われません。在籍学級の授業への取り組み方や、友人とのコミュニケーション等、一人ひとりの課題を解決するための「自立活動」の指導をする教室です。巡回指導教員と学級担任等が、特別支援教室・在籍学級それぞれの情報を共有し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていきます。

Q 特別支援教室に通う際、普段のクラスの授業はどうすればよいでしょうか。

A 特別支援教室の指導は日中の授業時間内に行うため、在籍学級で受けられない授業が生じます。受けられなかった授業については、学級担任を始め学校から可能な範囲でフォローを行います。また、受けられない授業科目に偏りが生じないよう、時間割を工夫する等の対応をしています。

特別支援教室についてのご相談は

お通りの学校の管理職(校長・副校長)・学級担任・教育支援コーディネーターへ

* 特別支援教室で行う指導に関すること：西東京市教育委員会教育指導課特別支援教育係 直通TEL 042(420)2828
* 就学や進学、入学に関すること：西東京市教育委員会学務課学務係 直通TEL 042(420)2824



生き抜くかしこさ

今年度もどうぞよろしくお願いいたします